

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-101	Year Month Day Time 2009 年 5 月 3 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>能代工業</b> 72 ○	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>22</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	22	1st	16	18	2nd	22	17	3rd	14	15	4th	16	OT			チームB <b>桜宮</b> 68 ●
22	1st	16															
18	2nd	22															
17	3rd	14															
15	4th	16															
OT																	

主審:Referee 平山 尚 神奈川  
副審:Umpire 信太 悦美 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials  
国際情報

No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	pi-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	宮城 大喜	CAP	21	3	5	2	3	4	×	木下 貴裕	CAP	17	3	4	0	2
5	×	武藤 修平		12	0	5	2	1	5	×	田中 一行		16	0	8	0	1
6	/	小川 昌志		2	0	1	0	0	6	/	横田 一城		-	-	-	-	0
7	×	湊 大樹		14	0	6	2	2	7	×	阪口 拓郎		10	0	5	0	1
8	×	伊藤 雄太		14	2	3	2	2	8	/	福田 隆司		6	0	3	0	1
9	×	伊藤 伸高		9	1	3	0	1	9	×	谷口 淳		12	0	4	4	3
10		藤田 洸		-	-	-	-	0	10		岡田 修		-	-	-	-	0
11	/	田中 浩喜		0	0	0	0	0	11	/	石塚 裕也		2	0	1	0	0
12		溝坂 太成		-	-	-	-	0	12		柳内 龍馬		-	-	-	-	0
13	/	志水 一希		0	0	0	0	0	13		山本 和輝		-	-	-	-	0
14		中山 祐樹		-	-	-	-	0	14	×	保井 佑介		5	1	1	0	1
15		西嶋 宏哉		-	-	-	-	0	15		古倉 勇人		-	-	-	-	0
16	/	三上 翔平		0	0	0	0	0	16		濱本 将太		-	-	-	-	0
17		畑澤 哲平		-	-	-	-	0	17		吉川 凌司		-	-	-	-	0
18		亀山 悟史		-	-	-	-	0	18		河隅 航		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 信長							コーチ		小村 基						
Aコーチ		安保 敏明							Aコーチ		數中 俊彦						
合 計				72	6	23	8	9	合 計				68	4	26	4	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。能代#5武藤のミドルシュートで先制。一方、桜宮は#5田中がゴール下を決め、入れ返す。その後、能代#4宮城が連続で3Pシュートを決め、12-6と抜け出す。桜宮は#5田中がミドルシュートをテンポよく決めて加点する。22-16と能代6点リードで第1Q終了。

第2Q、能代はハーフラインからのゾーンディフェンスで引き離しにかかるが、桜宮は落ちてボールを廻し、#7阪口、#9谷口らがシュートを決め、点差を縮める。能代はシュートが思うように決まらず、得点が伸びない。桜宮は#8福田がゴール下を決め、32-31となり、さらに残り1分25秒、#14保井が3Pシュートを決め、37-38と桜宮が逆転。終了間際、能代#5武藤がゴール下で入れ返し、40-38と能代2点リードで第2Q終了。

第3Q、能代は#8伊藤雄がドライブからシュートを決めるなどして得点する。桜宮は#4木下、#5田中がミドルシュートを決めて一進一退の展開となる。残り6分過ぎから能代にミスが目立ち始める。桜宮は#14保井がミドルシュートを決め、48-48で同点となり、さらに残り2分42秒に#9谷口がゴール下からシュートを決め、逆転するが、残り1分を切ったところから能代#9伊藤伸が3Pやスティールからのシュートなどで連続得点し、57-52と能代5点リードで第3Q終了。

第4Q、お互いにシュートを入れあう展開が続くが、65-61と能代4点リードとなったところで桜宮がタイムアウト。その後、桜宮はリバウンドを取ってから速攻で得点するが、能代は#4宮城が3Pやゴール下で踏ん張り、点差が動かない。残り1分32秒、#8福田がミドルシュートを決め、70-68となったところで、能代がタイムアウト。その後、能代#7湊がゴール下を決め72-68となったところで、試合終了。